



平成 21 年 7 月 27 日

各 位

会 社 名 アクモス株式会社
代表者名 代表取締役社長 飯島秀幸
 (J A S D A Q ・ コード 6 8 8 8)
問合せ先
役職・氏名 執行役員 経営情報管理部長 中川智章
 (電話 0 3 - 3 2 3 9 - 2 3 7 7)

特別損失の発生及び平成 21 年 6 月期業績予想の修正に関するお知らせ

このたび、当社が保有する子会社株式について減損処理を行なうこととなりましたのでお知らせ致します。併せて、平成21年5月12日付当社「当社及び当社子会社における特別損失の発生及び平成21年6月期業績予想並びに期末配当予想の修正に関するお知らせ」において発表いたしました平成21年6月期（平成20年7月1日～平成21年6月30日）の連結及び個別業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 特別損失の発生及びその内容

(1) 当社（個別）

子会社株式評価損 子会社株式（株式会社アルティ） 3 1 百万円

なお、連結においては影響はありません。

(2) 内容

子会社である株式会社アルティ（モバイルインターネットコンテンツ開発事業、以下アルティ）の前決算後の業績（注）について、事業計画通りの改善が見られないこと、また現在の事業環境等において今後の業績回復の見込みが乏しいことから、平成 21 年 6 月期において、アルティの子会社株式について減損損失を計上する見込みとなりました。

（注）アルティは3月決算会社であり、当社（6月決算）とは3ヶ月決算期がずれております。

(3) 今後の見通し

本件を踏まえた平成 22 年 6 月期の業績予想につきましては、平成 21 年 7 月 31 日発表予定の「平成 21 年 6 月期決算短信」にてお知らせいたします。なお、平成 21 年 6 月期の業績予想の修正につきましては、「2. 平成 21 年 6 月期 通期業績予想の修正」をご覧ください。

2. 平成 21 年 6 月期 通期業績予想の修正

(1) 平成 21 年 6 月期 通期連結業績予想の修正

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株当たり 当期純利益 円 銭
前回予想 (A)	5,685	△187	△202	△549	△5,547.30
今回修正 (B)	5,651	△108	△122	△469	△4,740.36
増減額 (B－A)	△34	79	80	80	—
増 減 率	△0.6%	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 20 年 6 月期)	7,376	159	142	△117	△1,152.78

(2) 平成 21 年 6 月期 通期個別業績予想の修正

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株当たり 当期純利益 円 銭
前回予想 (A)	2,490	△27	△5	△400	△4,041.75
今回修正 (B)	2,526	42	70	△357	△3,615.72
増減額 (B－A)	36	69	75	43	—
増 減 率	1.4%	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 20 年 6 月期)	1,359	131	206	205	2,019.16

(3) 修正の理由

前回の業績予想の修正におきましては、経済状況の最悪期が当面継続することを前提とし、新規の受注などの動きがないものとしておりました。その後、人材事業においては引き続き最悪期とみられる状況が続いておりますが、情報技術事業の一部においては、力強さはないものの、受注の動きが出てまいりました。特に、当社のシステム開発事業において、当初予想いたしました売上高を36百万円上回る見込みとなりました。一方、人材事業の子会社、株式会社マックスサポート(人材派遣事業)及びその子会社においては、既存顧客先様の売上減少が大きく、また特需要因もないことから、売上高が前回予想を59百万円下回る見込みとなりました。売上高については、これらの要因により、連結では前回予想より34百万円減少し、5,651百万円、個別では前回予想より36百万円増加し、2,526百万円となる見込みであります。

営業利益及び経常利益については、当社をはじめ、各子会社においても継続的に販管費の見直しを行い、不要不急の経費の削減をしております。特に、当社システム開発事業において経費削減効果が大きくあらわれ、当社個別業績において前回予想で想定しておりました販管費より32百万円減少しております。また、情報技術事業の子会社である株式会社エクスカル(IT製品のテスト事業)において、原価率改善により、想定していた原価を10百万円削減しております。これらの要因により、連結では営業利益が前回予想より79百万円増加し、営業損失108百万円、経常利益が前回予想より80百万円増加し、経常損失122百万円となる見込みであります。また、個別では営業利益が前回予想より69百万円増加し、営業利益42百万円、経常利益が前回予想より75百万円増加し、経常利益70百万円となる見込みであります。

また、上記要因により、連結では当期純利益が前回予想より８０百万円増加し、当期純損失４６９百万円、個別では「１．特別損失の発生及びその内容」でお知らせいたしましたアルティの減損損失の影響が加わり、当期純利益が前回予想より４３百万円増加し、当期純損失３５７百万円となる見込みであります。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって、予想数値と異なる場合があります。

以 上